

【音楽・中2・「曲の構成に着目しながら、曲想の変化を味わおう」】①

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 曲想と曲の構成(動機の現れ方等)の関わりについて理解する。

(思考力, 判断力, 表現力等) 曲の構成(動機の現れ方等)を知覚し、知覚したことと感受した曲想との関わりについて考え、よさや美しさを味わって聴く。

(学びに向かう力, 人間性等) 曲想と曲の構成との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。

ICT活用のポイント

曲想と曲の構成との関わりについて、気付いたことをグループで話し合いながら鑑賞を行ったり、他のグループと意見交流を行ったりした。

既習事項を振り返りながら、本時の学習の見通しをもつ

感じ取った曲想と曲の構成との関わりを考えよう

曲想と曲の構成の関わりを考えながら、鑑賞をする

学級全体で考えを共有する

曲想と曲の構成との関わりについて自分の言葉でまとめる

事例の概要

○『交響曲第5番ハ短調』第一楽章について、動機の現れ方等に注目して感じ取った曲想と曲の構成との関わりを考える。

【事例におけるICT活用の場面①】

○事前に教師がICT端末の学習支援ソフトに保存した鑑賞曲を3～4人のグループで自由に鑑賞し、感じ取った曲想と曲の構成との関わりについてシートにまとめ、学習支援ソフトを通して提出する。

【事例におけるICT活用の場面②】

○他のグループがまとめたシートと、自分たちのグループがまとめたシートを学習支援ソフトで比較することで、多様な考え方に触れ、考えを広げる。

【音楽・中2・「曲の構成に着目しながら、曲想の変化を味わおう」】①

【事例におけるICT活用の場面①】



(写真1)

(写真2)

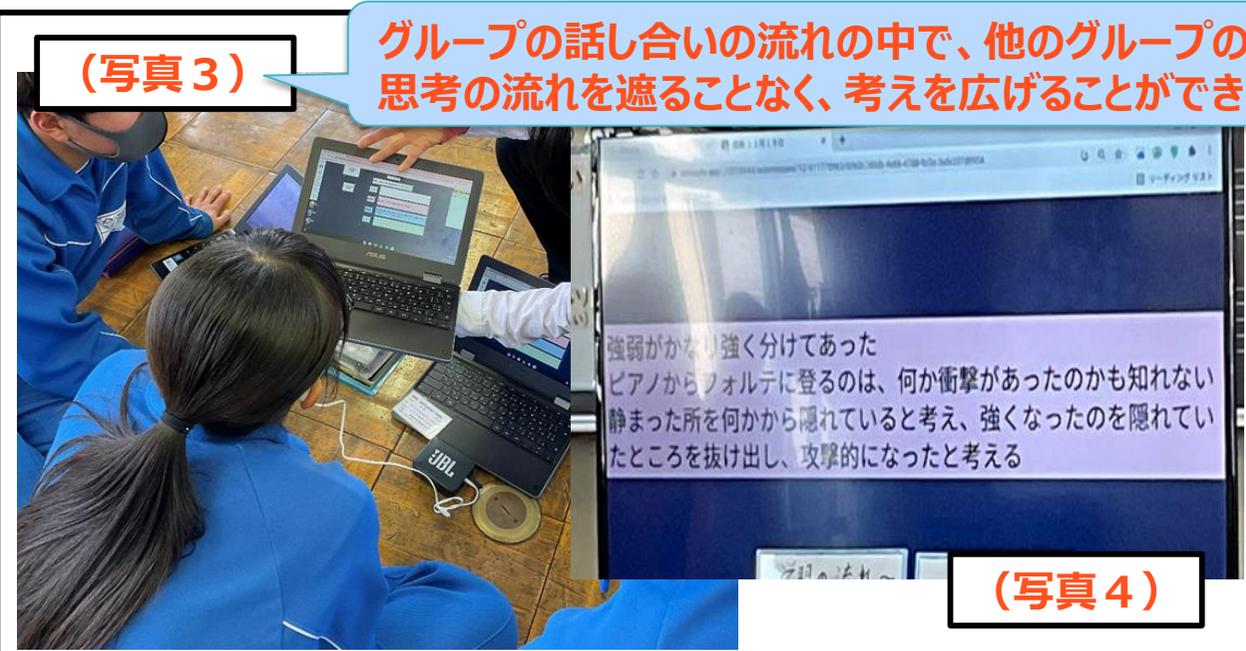
限られた時間を効率的に使えるよう、グループの中でICT端末の役割分担（・鑑賞曲をスピーカーから流す係・考えをまとめ、シートに入力し提出する係・他のグループのシートを見る係）を決めた。

(写真1) は、曲想と曲の構成の関わりについて気付いたことをグループ全員で確認するために、学習支援ソフトを使って、繰り返し鑑賞しながら確かめているところ。

(写真2) は、グループで話し合った結果をまとめたシートを、学習支援ソフトで提出しているところ。

説明したい箇所や、聴きたい箇所を、何度でも繰り返し再生し、鑑賞することができる

【事例におけるICT活用の場面②】



(写真3)

グループの話し合いの流れの中で、他のグループの考えに触れるので、思考の流れを遮ることなく、考えを広げることができる

(写真4)

各グループから提出されたシートと、自分ちの考えと比べながら、疑問に思ったことを質問し合い考えを広げた。

(写真3) は、曲想と曲の構成の関わりについて、作曲者の生涯と関わらせながら考えたグループのシートを見ながら、自分たちの考えと比べて、意見を述べ合っているところ。

(写真4) は、グループから提出されたシートを学級全体で共有しているところ。教師が補足を加え、更に考えが広がるようにした。